

第7回御所市学校規模適正化推進会議

議事要旨

日時 平成27年2月16日(月) 19時00分～21時00分
場所 市役所本館3階 第1会議室
出席者 委員：田仲会長、辻内委員、有家委員、岸田委員、木下委員、齋藤委員、
津田委員、川田委員、向手委員、細川委員、北谷委員、野阪委員
(欠席は山本委員、田仲委員、井上委員)
事務局：安井、森川、中西、安川、高橋、森田

内容

開会

○田仲会長が挨拶を行った。

市長あいさつ

○東川市長が挨拶を行った。その後、質疑応答を行った。

確認事項

○第5回、第6回推進会議会議録の確認を行った。

議事

○中間まとめについて

事務局から、推進会議でのこれまでの意見を踏まえ、別紙の中間とりまとめ案を教育委員会の中間まとめとして決定し、議会報告、市民周知、関係機関との協議等を行っていく旨を説明した。

その後、各委員から意見が出され、次回の会議で再度確認することになった。

委員の意見は次のとおり。

- ・我々の話をまとめるには、こういうとりまとめ案しかない。
- ・今、この段階でとりまとめるのは承諾しかねる。何をするのか。結論は出ない。魅力ある学校づくりをどうしていくのか。今までのとりまとめでしかない。推進会議後の話はどうか。
- ・とりまとめ案をこれで良いかと言われたら反対だ。はっきりしてほしい。
- ・教育に熱心な御所市を打ち出していく。今後、どういう方向で進めていくのか。
- ・内容が熱を帯びていない。抽象的だ。市民理解の部分は推進会議で進んでいないように捉えられる。
- ・魅力ある学校づくりの意見は現場の者としては大ショックだ。今やっていることを満足してもらっていないようだ。
- ・学校の不平、不満を聞く。保護者と先生とが話し合うことが大事。

- ・戦略的な議論はこの人数では厳しい。
- ・御所市の教育方針が空論にならないよう、教員も素直に認めるところは認めないといけないし、保護者も学校任せではダメだ。
- ・どれだけ教員が入ってくるかどうかだ。やっていることは間違っていない。一緒に作っていかないといけない。人の出入りが少ないと発展がない。
- ・魅力ある学校づくりは、保護者、教員が話し合う場を教育委員会が作る必要がある。
- ・学校数、場所を求められても各々が考えたものがある。人的なもの、財政的な裏付けがなければ空論になる。新設の学校で、と言ったらやっていけるのか。
- ・本当にできるか、できないか、無責任にもできない。一つの柱を作らないといけない。議論の中身で一定の方向を打ち出していく。推進会議で議論していく。出し合った方が煮詰まっていく。
- ・将来の学校像で、新設校にするというのが書かれていない。
⇒（事務局回答）3校すべてを新設にするのは難しい。
- ・教育委員会が一定の方針を持って、一歩前に出て次の議論を進める時期に来ている。
- ・過渡期に学校をつくれれば5年、10年で廃校となる。そんなことはできない。
- ・ハード面、予算などは行政に任せたら良い。人口減少が激しいから、私は1小1中新設校が良い。
- ・教育委員会の姿勢が問題だ。次回、教育委員会の意見をもらいたい。
- ・教育委員会は困難を乗り越えて、子どものためにがんばってもらいたい。
- ・行政を挙げて取り組む姿勢を見せてもらいたい。

その他

○その他の協議について

田仲会長から、今回の市長の話に続き、市議会からも話を聞いてはどうかと提案があったが、議会は審議機関であるとの意見があり見送りとなった。

○次回の会議について

次回は会議は、2月23日（月）午後7時～、市役所で開催する。

○3月の会議日程について

3月の会議は1回で、3月16日（月）午後7時～、市役所で開催する。

閉会